

第3回 令和2年度草津市スポーツ推進審議会 議事要旨

■日時

令和2年10月9日（金）19時00分～20時45分

■場所

草津市役所6階 教育委員会室

■出席委員：

岡本委員、京近委員、姫野委員、小傳良委員、北川委員、古川委員、嘉悦委員、
中西委員、栗原委員、山口委員

■欠席委員：

—

■事務局：

居川教育部長、南川教育部副部長、
スポーツ保健課 織田課長、北野係長、谷口主査、田平主任
スポーツ大会推進室 藤崎室長

■傍聴者：

0名

1. 開会

【居川教育部長】

本日は何かとお忙しい中、台風が接近して足元が悪い中、第3回草津市スポーツ推進審議会にご出席いただきありがとうございます。

さて、8月26日に開催をしました第2回審議会において、市民アンケート調査結果等を踏まえた第2期計画の骨子案についてご議論いただいたところでございます。

本日は、第2回審議会や庁内関係課等の意見を踏まえ、とりまとめた第2期草津市スポーツ推進計画素案について、ご審議いただきたいと思います。委員の皆様におかれましては、限られた時間ではございますが、様々な観点からご意見をいただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

2. 自己紹介

3. 役員選出について

4. 審議案件

【委員長】

先日、授業の中で、グッドプレーヤー、グッドコーチというキーワードで学生と議論した。勝った負けたあるいは戦術、戦略をとるだけが指導者、選手ではない。それ以外にも社会性の問題についても考えていく必要があるのではないかという議論をしたところである。コロナ禍で、様々な制約のある中で、選手も指導者も気を配りながらプレーや指導をしている状況であり、これまで習っていないこと、教科書にも書かれていないことに直面し、対応していかなければならない。グッドプレーヤー、グッドコーチは、様々な状況に対応するため、幅広い教養を身に付けていかなければならないということだと考えている。

スポーツ推進計画についても、当たり前のものでなく、市民に広く理解していただき、草津市はスポーツが盛んで、草津市に対して帰属意識、愛着を持つというところに影響できればいいと考えているので、そういった意味でも活発なご議論を期待したい。

【副委員長】

委員の皆さんのすばらしいご意見を期待する。

(1) 第2期草津市スポーツ推進計画素案について

【事務局】

資料1に基づき前半部分説明

【委員長】

第1期計画の成果と課題について事務局から説明をいただいた。質問、ご意見があればお願いしたい。

【委員】

重要度と満足度の相関図だが、体裁面であるが、重要度の軸ラベルは横向きにしたほうがいいのではないか。

【委員長】

他にご意見がないようなので、後半の第2期計画の内容、目標値について説明をお願いする。

【事務局】

資料1に基づき後半部分説明

【委員長】

キャッチフレーズについては、皆さんの意見を再度聞かなくてもいいのか。

【事務局】

キャッチフレーズについては、皆さんの意見を改めて頂戴した上で、パブリックコメントに向けて、ひとつの指針を定めていきたいので、新たなご意見があればお願いしたい。

【委員長】

キャッチフレーズについては、別のところで最終決定をするのか。

【事務局】

A案、B案の両案について、庁内や市議会でも意見をいただいでいくところである。これらの意見を踏まえた上で、市で最終決定させていただきたいと考えている。

【委員長】

本日は、特に数値目標についてご意見をいただきたいということである。

まず、基本方針1 子どもの体力向上とスポーツ活動の推進の数値目標からご意見を願いたい。

運動やスポーツをすることが好きな子どもの割合を増やすことを新たに目標に設定したわけだが、先生方にお聞きしたいが、この数値を増やすためにはどのような取組が必要か、お考えがあればお聞かせいただきたい。今までも大学と連携して様々な取組を進めてきているが、まだまだ足りないということを大学でも考えなければいけないということかと思っている。

【委員】

中学校としては、まずは授業改善で、それぞれの自己努力により、運動好きの子どもを育てることが大前提であるが、それをベースにしながら、培ったものを関連付けながら、卒業後も、また、社会に出た時にそれぞれの力をさらに伸ばせるように、関連付けをしていくことが大事であろう。持続的にということを目指すことが大事ではないかと考えている。

【委員長】

小学校も、週に2～3時間ある体育の授業をどれだけ充実させていくかであろう。算数や国語の学力だけでなく、「知・徳・体」の「体」の部分も大事なんだということを教員一人ひとりが充実させていくことで、数値があがっていくのではないかと考える。

【委員長】

女子は全国平均点がかなり高く、市の値と3%くらい差があるのが気になるところである。

新体力テストの成績について、男女とも全国平均点を上回るという目標値は達成可能と考えても良いか。

【委員】

令和元年度にはほぼ達成しているので、年度によりばらつきがあるのは事実であるが、達成可能ではないか。

【委員】

未就園児のお母さん方に接する機会がよくあり、お母さん方に聞いていると、幼稚園に行く外で遊ぶ機会は多いが、未就園児は外遊びの経験がすごく少ないようだ。いくら小学校で体力テストの成績を上げようとしても、小さい時の外遊びの体験が少ないと難しい

だろう。子育て支援センターで開催される子どもたちの運動イベントは参加者がかなり多く、子どもたちが遊ぶことに関しておかあさんたちはかなり意欲的であるが、イベントや情報が少ないので、外に遊びに行くことができず困っており、小さい時からもっと外遊びができるようにしてほしいという意見を聞く。

【委員長】

おかあさん世代も外遊びが減っている年代であるので、そういったこともかなり影響しているかと思う。未就園児の対応について、もう少し文言を付け加えてもいいのではないかな。

【事務局】

施策1の①遊びを通した運動・スポーツの充実の子どもの運動・遊びの推進が該当するかと思うが、未就園児については、子育て支援センターで遊びの場を提供したり、親子で体を動かすことができるイベントが人気だということで、そういったところを増やし、充実させていくことを担当部署である幼児の部局でも考えているので、引き続き取り組んでいきたい。

【委員長】

しっかりとスポーツ教室を行っている保育園の卒園生は、小学校、中学校に上がってもスポーツ実施率が高いという研究報告がある。幼稚園など小学校前の段階でしっかりと運動経験をさせていくことが大事ということである。

続いて、基本方針2 生涯スポーツ活動の推進に進める。成人（20歳以上）の週1回30分以上のスポーツ実施率という目標をあげていたが、年代別でみてはどうかという議論があり、60歳代以下と70歳代以上という年代別の目標値を追加したということである。70歳代以上は現状維持で、60歳代以下、特に30歳代、40歳代のスポーツ実施率を高めていく必要があるということであったが、これについてはいかがか。

【委員】

この設定でいいのではないかな。

【委員】

これでいいと思う。施策1 ライフステージにあわせた健康づくりの推進ということで、イベントのように単発で終わるような事業もあるが、年に複数回できるような事業にしていただければと思う。

【委員】

60歳代、70歳代の高齢者はスポーツに関してやる気があるのでほっておいても大丈夫だと思うが、若いお母さん方は、子どもにはスポーツさせても、自分たちはおしゃべりしているだけで、自らも参加する人が少ないように感じる。お母さんも日常的に動けるように推進したほうがいいのではないかな。お母さんの体力が子どもたちについていけないように感じる。

【委員】

子どもたちの親世代は、ゲーム世代になってきているので、子どもの時にあまり動いていないのではないか。

【委員長】

数値目標については、これまでも議論いただいているので、了解いただいたことにしたい。他にご意見があれば。

【委員】

目標となっているスポーツ実施率だが、高齢者はウオーキングもスポーツとして考えられると思うが、20歳代ではスポーツと考えないかもしれないので、スポーツの定義は年代によってかわるのではないか。

【事務局】

2ページに、サッカーや野球等の競技スポーツだけでなく、ウオーキングや散歩、ストレッチ等の軽い運動もスポーツに含めると本計画の中でのスポーツの定義を記載している。また、毎年実施している市民意識調査でも、週1回30分以上運動しているかどうかを聞いており、その注釈の中で、ウオーキングや散歩等の軽い運動もスポーツに含める記載しており、それらを含んだスポーツの実施状況を回答いただくようにしている。

【委員長】

非常に大事なところだと思う。スポーツは競技スポーツだけではないということを今後広めていかなければならない。

【委員】

今後はコロナと一緒に付き合っていかなければいけないので、運動やスポーツを実施するのも難しいところがある。

【委員長】

施策6に障害者スポーツの推進とあるが、障害者福祉センターである程度担っていると思うが、市において障害者が体を動かしたりイベントができるような運動施設があるのか。

【事務局】

障害者団体が総合体育館で運動会を実施したり、去年は、障害者と健常者が一緒にスポーツを楽しもうということでポッチャ大会を市の体育施設で実施されている。そういったことから、施設整備においては、バリアフリー、ユニバーサルデザインを心がけている。また、国スポ・障スポでも、会場に市の体育施設が位置づけられている。

【委員長】

環境の提供が大事であるので、激励金だけでなく、そのあたりも計画に盛り込んではどうか。

続いて、基本方針3 競技スポーツの推進であるが、これまでにスポーツ協会とも議論をしながら数値を検討してきたところである。滋賀県民体育大会における草津市の総合得点については、前回計画では非常に目標点数が高かったため、65点であれば、達成可能ではないかということであった。また、新たな目標として、全国大会の出場件数を加えてい

る。

【委員】

県体の成績は年によってばらつきがあるが、目標値として65点はそう難しくはないだろう。

全国大会の出場件数はこんなものなのか。

【事務局】

本編の数値が間違っているので訂正させていただきたい。別紙が正しく、令和元年度の実績は89件508名である。目標値は令和7年で100件600名である。令和7年は、国スポ・障スポの開催年でもあるので、スポーツ協会にもご尽力いただきながら、達成を目指したい。

【委員長】

大学生は住民票を移していない人も多いので、住民票を移してもらえるような仕掛けが出来ないか。全国大会の出場件数を上げるためには、立命館大学陸上部の学生が住民票を移せばすぐに達成できるだろう。

【委員】

陸上の大会に出場するためには、陸上競技協会の登録が必要であるが、登録は出身県でも現在地でもいいので、住民票は滋賀県にはないが、登録は滋賀県になっている。

【委員】

県体は競技団体によって扱いが違い、駅伝などのように住民票がなくても出場できる種目もある。

【事務局】

目標にかかげている全国大会出場者激励金交付については、草津市民が対象である。一方で、県民体育大会については、現住所や勤務地などであれば出場できると参加要件を緩和している種目もあれば、住民票が必要としている種目もあるのが現状である。県としても議論しているところであり、参加者を増やしていくために緩和していく方向で検討されている。

【委員】

中学校の運動部の全国大会の派遣件数はどれくらいか。

【委員】

今年度は大会が開催されていないが、昨年の全国大会出場は2校であり、野球と陸上である。近畿大会であればもう少し増える。

【委員】

最近クラブが多く出来ており、部活動よりもクラブに参加している子どもたちが多いだろう。

【委員】

クラブによっては、クラブ登録していると同じ種目の部活動に所属できないところもあ

る。

【委員】

中学校の体力向上をしっかりと行なっていきたいが、いい指導者がいるところにはいい生徒が集まる。中学校2年生が滋賀県で開催される国スポのターゲットエイジになるので、体育の先生に大いに期待している。昨年、全国女子駅伝に玉川中学校の子が出場しているが、指導者の育成は非常に重要である。

【委員長】

草津東高校の重点強化競技が10種目になり、市内から通学している子どもたちも多いので、国スポでも大いに活躍してくれるだろう。

38ページに草津市立プールの施設整備について記載があるが、50mが10レーン、3m昇降の飛込兼用プールの設置が予定されており、プールが出来ると競技者も増えるので、草津の特色がこのプールに出てくるであろう。今後、水泳のアスリート育成を準備していくということを、文言として記載するかどうかは別にしても、考えていってもいいのではないかと。うまくいけば、宝塚市と草津市が日本選手権で競い合っているような環境ができ、草津市からオリンピック選手が出てくるのではないかと。

【事務局】

施策4の②専門性を生かしたアスリートの育成の中で、「(仮称)草津市立プール等の施設整備が進められることで、国内外のプロスポーツ選手等の競技を間近に触れることにより、競技力向上に活かすとともに」と記載しているので、ご指摘の点について文言を検討する。

【委員】

本当にプールはできるのか。

【委員長】

現在、事業者の募集が始まっているところである。

続いて、基本方針4 スポーツ環境の充実についてであるが、目標として、社会体育施設等の利用者満足度と市内のスポーツ施設等の利用者数80万人があがっている。市内のスポーツ施設等の利用者数の目標値80万人の根拠を再度説明いただきたい。

【事務局】

市内スポーツ施設利用者数の令和元年度実績の68万2千人に草津市立プール整備基本計画に記載されている年間利用者見込数6万9千人を足した75万1千人に、新しい施設ができたり、関西ワールドマスタースゲームズ、東京オリンピック・パラリンピック、滋賀の国スポ・障スポ等の大規模大会で注目が集まることや、機運の高まりを見込み、希望を込めた数値としている。

【委員長】

希望がプラス5万人となっているが、少し厳しい気がする。

【委員】

機運の高まりに期待するのであれば、啓発等にどう力をそそぐかにかつてくるだろう

【委員長】

市としてどう仕掛けるかということだろう。市として何か仕掛けなど、別途計画していかなければいけないという課題は持っているのか。

【事務局】

計画にかかっている様々な取組をしていく中で、合わせ技で結果として目標達成につながっていけばと考えている。出だしは子どもに関する部分で、親子遊びから始まり、幼稚園や保育所で運動好きの子どもを増やし、小・中学校でも取組を行い、社会全体で運動できる場所があり、結果として目標に近づければいいなと思っている。YMITやプールができることで、レベルの高いものを見る機会がぐっと増えるので、関心が高まることで自分たちもやりたいと思う人が増えればと考えている。

【委員長】

先ほど委員からお話があった未就園児の子どもや親の参加数もスポーツ施設等の利用者数にカウントしていくのか。

【事務局】

指定管理者の方でも考えていただいているところであるが、親子でできる運動教室や、初心者向けのきっかけづくりの運動教室等の取組もこの中に含んでいる。導入部分である未実施者や運動やスポーツをしにくかった層にどうアプローチしていくかも、本計画期間内のテーマであると考えている。

【委員長】

自治会でホール等の施設を持っているところがいくつかあり、健康体操などに取り組んでおられるが、そういった数値はカウントしているのか。

【事務局】

スポーツ保健課では参加人数を把握していないのが現状であるが、各学区においてまちづくり協議会で様々な活動に取り組んでいただいているところであり、まちづくり部局では、そういった活動を支えるための交付金を出していることから、実績報告の中で、そういった活動をしているかという概略については把握している。

【委員】

各町内会の公民館等で、百歳体操や健康体操、ニュースポーツ等を定期的に実施しているところがいくつかある。そのあたりがカウントされていないのは、疑問であるので、目標値に含めてほしい。

【事務局】

高齢者福祉部局で、高齢者サロンの百歳体操等の参加人数や団体数は把握できる。

【委員長】

延べ数でいくとかなりの数になるだろう。今後、そういった数値をどうカウントしていくかを事務局でも検討いただきたい。

【委員】

年に1回実施する市民を対象としたチャレンジスポーツデーは、地域と競技団体が主体となって行っている。地域の出席率は割と高い方であるが、地域によって状況が違い、マンションが多いところでは参加者が少なく、どのように参加者を増やすかは難しいところである。

【委員】

各学区で苦慮されているところであるが、体育振興会連絡協議会でも一昔前に比べると参加の意思を示される方は減ってきており、苦慮している。実態の把握をしていかなければならないところである。

【委員長】

そのあたりは、施策2のスポーツ推進員活動の推進にも関わってくるところであり、課題として検討いただければと思う。

最後に、基本方針5 スポーツによるまちの活性化についてだが、目標として広域的なスポーツイベントの参加者数と国スポ・障スポ滋賀大会参加者数が設定されている。国スポ・障スポ滋賀大会参加者数は、5万人という数値が目標値としてあがっているが、選手や監督指導者だけでなく、観戦者やボランティアも含めるということである。

国スポ・障スポの参加者はどうカウントするのか。

【事務局】

選手や監督、関係者は登録制であるので把握できる。ボランティア数は名簿を作成するので把握でき、観戦者は受付でカウントすることで人数は把握できる。

【委員長】

目標値である5万人は達成できそうか。

【事務局】

開催実績をみると、茨城国体が約3万9千人、福井国体が3万2千人であるが、令和7年の開催まで期間もあるので、周知啓発に取り組み、選手や監督、参加チーム数は基準があるので増加は難しいが、観戦者やボランティアなどの「見る」「支える」の増加を目指したい。

【委員長】

高齢者が参加されるようなイベントを増やすのは難しいのか。

【委員】

高齢者は応援やボランティアでの参加であればできるが、イベントは難しい。育成も含めて、若い世代に頑張っていたいただいた方がいいだろう。

【委員】

総合体育館でもよくバトンの練習をしているが、大学ではバトンはスポーツに認定されていないのか。

【委員長】

大学としては、バトンは文芸に置いている。

関西ワールドマスターズゲームズに何か動きがあったのか。

【事務局】

現時点では、1年延期の方向で調整をしているところであると聞いている。

【委員長】

他にないようであれば、議案については以上とさせていただきます。

【事務局】

本日のご意見を踏まえ、事務局で素案として固める予定である。

5. その他

第4回審議会は12月1日（火）19時

6. 閉会
